

A 第1問 (必答)

x を変数とする高々3次の実係数多項式全体のなす実線型空間を V とする. 実数 a に対して, 線型写像 $g_a, h_a: V \rightarrow \mathbf{R}$ を

$$g_a(f(x)) = f(a), \quad h_a(f(x)) = f'(a), \quad (f(x) \in V)$$

と定める. ここに, $f'(x)$ は多項式 $f(x)$ の x についての微分を表す. 以下の問に答えよ.

(1) 和空間 $(\text{Ker } g_0 \cap \text{Ker } g_1) + (\text{Ker } g_1 \cap \text{Ker } g_2)$ の基底を一組求めよ. ただし, Ker は写像の核を表す.

(2) 和空間 $(\text{Ker } g_0 \cap \text{Ker } h_a) + (\text{Ker } g_1 \cap \text{Ker } h_0)$ が直和とならない実数 a をすべて求めよ.

A 第2問 (必答)

$a > 0$ に対し

$$D_a = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid 0 \leq x \leq a, 0 \leq y \leq a\}$$

とする. また, 実数 θ に対し, \mathbf{R}^2 において原点を中心に D_a を反時計回りに角度 θ 回転した領域を $D_{a, \theta}$ とする.

$$f(a, \theta) = \iint_{D_{a, \theta}} (e^{x^3+y^3} - 1) \, dx dy$$

$$g(a, \theta) = \iint_{D_{a, \theta}} (x^3 + y^3) \, dx dy$$

とおき, さらに

$$M_a = \max_{\theta \in \mathbf{R}} f(a, \theta), \quad L_a = \max_{\theta \in \mathbf{R}} g(a, \theta)$$

とする. 以下の問に答えよ.

(1) 任意の $a > 0$ に対して, L_a の値を求めよ.

(2) 極限 $\lim_{a \rightarrow +0} \frac{M_a}{f(a, 0)}$ の値を求めよ.

A 第3問

$x \in \mathbf{R}$ に対して

$$f(x) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{\sin(nx)}{n^2}, \quad g(x) = \int_1^{\infty} \frac{\sin(tx)}{t^2} dt$$

とする。以下の問に答えよ。

(1) 任意の $x \in \mathbf{R}$ に対し、 $f(x), g(x)$ が絶対収束すること、および、 $f(x), g(x)$ は x の連続関数であることを示せ。

(2) n を正の整数、 x を正の実数、 t は $n \leq t \leq n+1$ を満たす実数とする。このとき、 n, x, t に依存しない正の定数 C が存在して、次式が成り立つことを示せ。

$$\left| \frac{\sin(tx)}{t^2} - \frac{\sin(nx)}{n^2} \right| \leq \frac{Cx}{n^2}$$

(3) 次式を示せ。

$$\lim_{x \rightarrow +0} \frac{g(x)}{x \log(1/x)} = 1$$

(4) 次の極限值を求めよ。

$$\lim_{x \rightarrow +0} \frac{f(x)}{x \log(1/x)}$$

A 第4問

V, W を \mathbf{C} 線型空間、 $f: V \rightarrow W$ を \mathbf{C} 線型写像、 r を正の整数とする。

$$V^{\otimes r} = \underbrace{V \otimes \cdots \otimes V}_{r \text{ 個}}, \quad W^{\otimes r} = \underbrace{W \otimes \cdots \otimes W}_{r \text{ 個}}$$

と書き、 $f^{\otimes r}: V^{\otimes r} \rightarrow W^{\otimes r}$ を f が誘導する \mathbf{C} 線型写像とする。
 $g^{\otimes r} = f^{\otimes r}$ をみたす \mathbf{C} 線型写像 $g: V \rightarrow W$ を全て求めよ。

A 第5問

$p > \frac{1}{2}$ に対して、次の値を求めよ。

$$\frac{1}{\Gamma(\frac{1}{2p})} \int_0^{\infty} \frac{\sin(x^p)}{\sqrt{x}} dx$$

ただし、正の実数 x に対して、 $\Gamma(x)$ は次式で与えられるものとする。

$$\Gamma(x) = \int_0^{\infty} t^{x-1} e^{-t} dt$$

A 第6問

関数 $x(t)$ に対する微分方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2}(t) - \frac{2}{t^2}x(t) = \frac{2}{t}$$

について以下の問に答えよ。ただし、 t は正の実軸 $\{t \in \mathbf{R} \mid t > 0\}$ を動くものとする。

(1) $a, b \in \mathbf{R}$ に対し、条件

$$x(1) = a, \quad \frac{dx}{dt}(1) = b,$$

をみたす解 $x(t; a, b)$ を求めよ。

(2) 任意の正の整数 n に対して広義積分

$$I_n = \int_0^1 x(t; a, b)(\log t)^n dt$$

が収束するための、実数 a, b に対する必要十分条件を求めよ。また、その条件のもとで I_n の値を n, a, b を用いて表せ。

A 第7問

集合 M を次のように定義する。

$$M = \{f : [0, 1] \rightarrow \mathbf{R} \mid f \text{ は連続かつ広義単調増加}\}$$

M に次の二通りの位相を考える。

(a) M 上の距離 $d(f, g) = \max_{x \in [0, 1]} |f(x) - g(x)|$ が定める位相。

(b) 任意の $x \in [0, 1]$ に対して

$$\text{ev}_x : M \rightarrow \mathbf{R}; f \mapsto f(x)$$

が連続となるような最弱の位相。つまり

$$\left\{ \bigcap_{j=1}^m \text{ev}_{x_j}^{-1}(I_j) \mid m \text{ は正整数, 各 } x_j \text{ は } [0, 1] \text{ の元, 各 } I_j \text{ は开区間} \right\}$$

で生成される位相。

このとき、位相 (a) と位相 (b) が一致するか否かを答え、それを証明せよ。